

前田侯子「黒田チカ先生の生涯と研究」

(お茶の水女子大学女性文化資料館報 7号 1986年) を転載するにあたって

黒田チカ先生は、女性で帝国大学を卒業した我が国に於ける最初の理学士の1人であり、保井コノ先生に続く第2番目の女性理学博士で、一般にも、「紅の博士」としてよく知られている化学界の大先輩です。また戦前の東京女子高等師範学校、新制大学となったお茶の水女子大学の教授として本学において長く教育に携わっていらっしゃいました。その生涯と研究を、本学理学部化学科名誉教授の前田侯子先生が、お茶の水女子大学女性文化資料館報第7号(お茶の水女子大学女性文化研究センター；現ジェンダー研究センター)に寄稿されて20年になります。いまだに女性は理系には向かないといわれるなかで、このようなすぐれた女性の化学者が戦前すでに活躍されていたということ、若いかたがたに知っていただき励みになればと願い、ジェンダー研究センターの許可を得てここに転載します。

最近「化学者たちのセレンディピティー - ノーベル賞への道のり - 」と題した本が発行されました。吉原賢二東北大名誉教授が、日本の化学研究に貢献した12名の化学者の生涯について、現代化学に長く連載されていたものを単行本にまとめられたものです。その中で女性化学者としてただ一人黒田チカ先生が取り上げられています。興味のあるかたはあわせてぜひ読んでください。

ホームページへの転載を快く許可くださったジェンダー研究所と前田侯子先生に感謝いたします。また転載にあたり、一部注釈を加えたことと写真などが元の原稿と少し異なる配置になっていることをお断りします。

参考

「黒田チカ資料目録」 お茶の水女子大学 ジェンダー研究センター 平成12年

「化学者たちのセレンディピティー - ノーベル賞への道のり - 」 吉原賢二 東北大学出版会 平成18年

平成18年10月26日

桜化会OUC A会長 梅澤 香代子
役員 田川 明子